

(仮称) こうべ歯と口の健康づくりプラン(第3次)

第1章 計画の基本

1. 策定の背景

「歯科口腔保健の推進に関する法律(平成23年8月)」および「歯科口腔保健推進に関する基本的事項(平成24年7月)」を踏まえ、「こうべ歯と口の健康づくりプラン(平成26年3月)」を策定。

平成28年11月8日(いい歯の日)に「神戸市歯科口腔保健推進条例」を施行。条例を踏まえ、「こうべ歯と口の健康づくりプラン(第2次)」を策定(平成30年4月)。

歯科口腔保健施策をより推進するため、「こうべ歯と口の健康づくりプラン(第3次)」を策定。

2. 基本理念

- (1) 歯科疾患の予防、早期発見および早期治療に関し、市民の自発的な取り組みを促進させるものであること
- (2) 乳幼児期から高齢期までのそれぞれの時期における口腔機能の状態に応じて切れ目なく、適切かつ効果的に実施されるものであること
- (3) 保健、医療、福祉、教育その他分野における施策との有機的な連携が図れるものであること

3. 目標

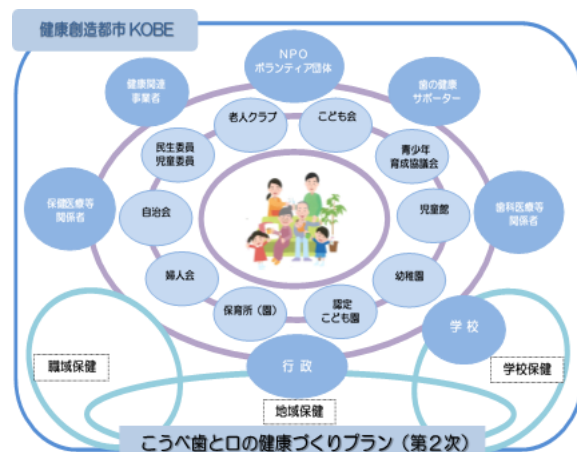
- (1) 生涯、自分の口でおいしく食べる
- (2) 口の健康から全身の健康づくり
- (3) 健康格差の縮小

4. 計画期間

令和5年度から5年間

5. 推進体制

神戸市歯科口腔保健推進検討会
神戸市歯科口腔保健推進懇話会

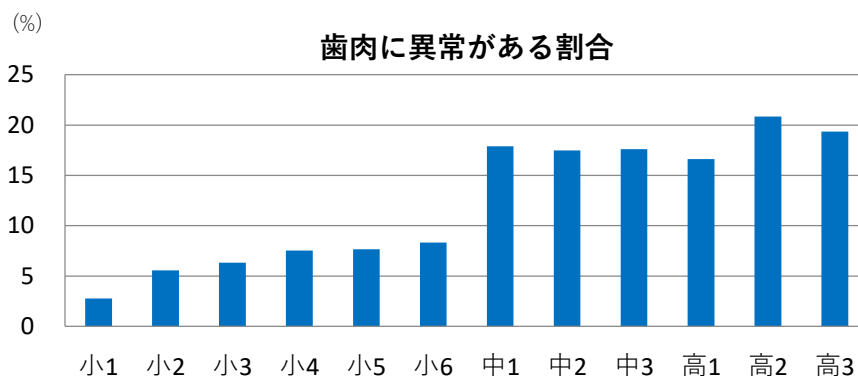


第2章 神戸市の歯科口腔保健対策の現状と方向性

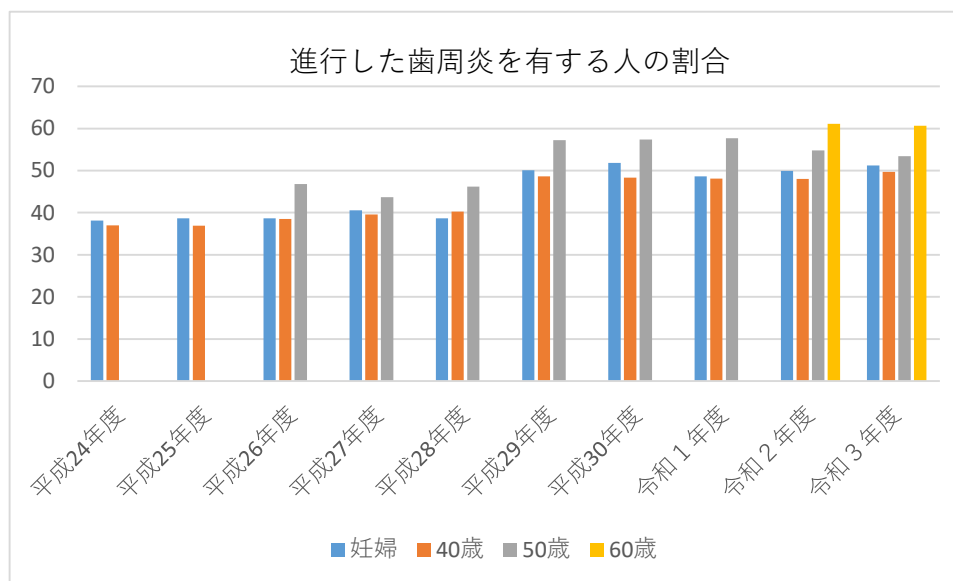
1. 歯周病について

歯の喪失の主な原因である歯周病は、糖尿病、動脈硬化、誤嚥性肺炎、早産、認知症など、さまざまな全身の健康に影響する。

(1) 学齢期の歯肉炎



(2) 妊婦・壮年期の歯周病



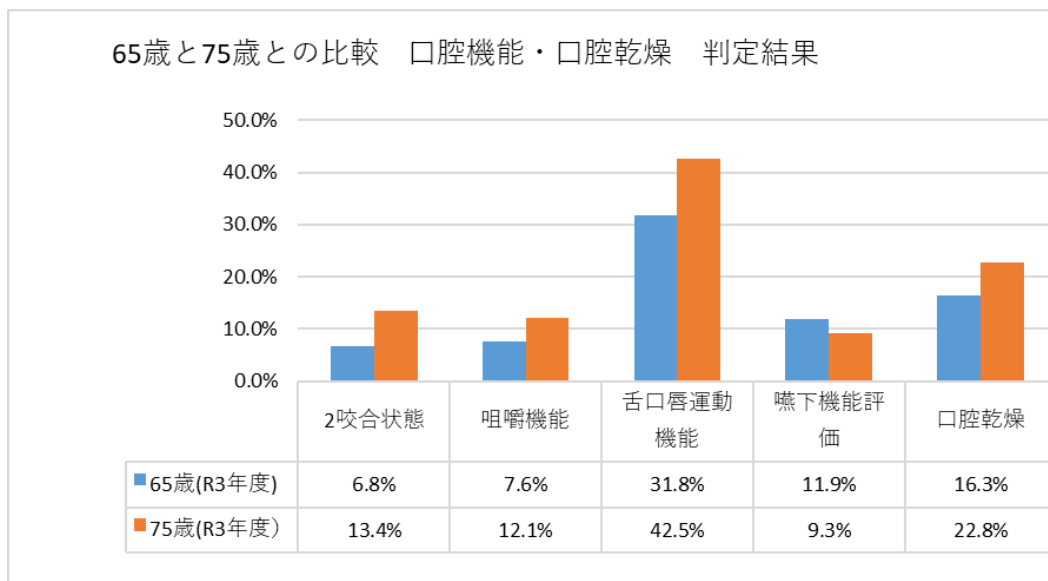
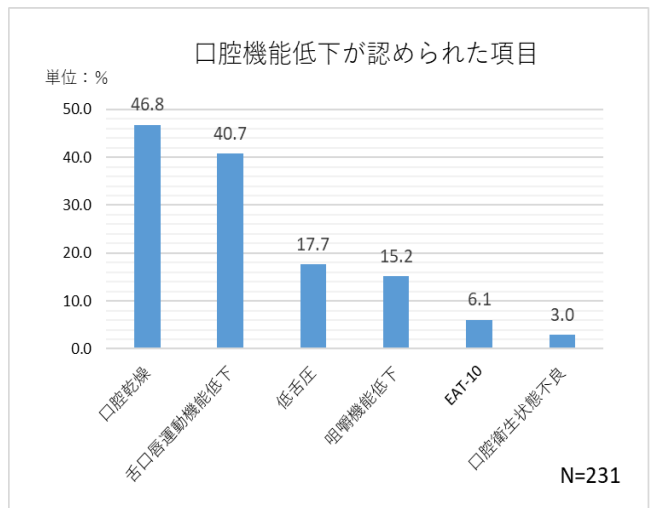
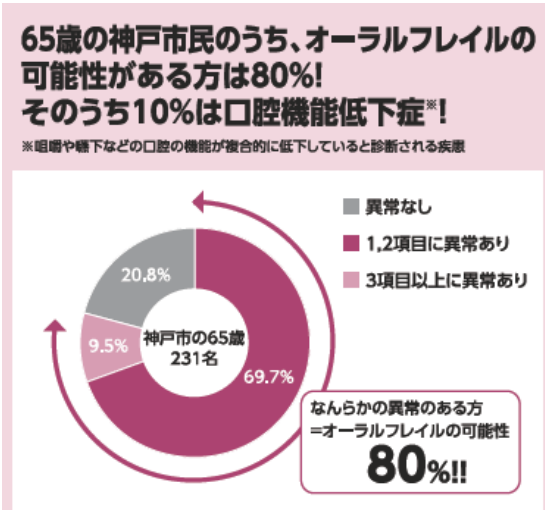
令和4年6月「骨太の方針2022」生涯を通じた歯科健診の推進
「健康寿命の延伸プラン」における歯周病等の対策の強化等が盛り込まれた。

歯周病と全身の健康について

コラム記載予定

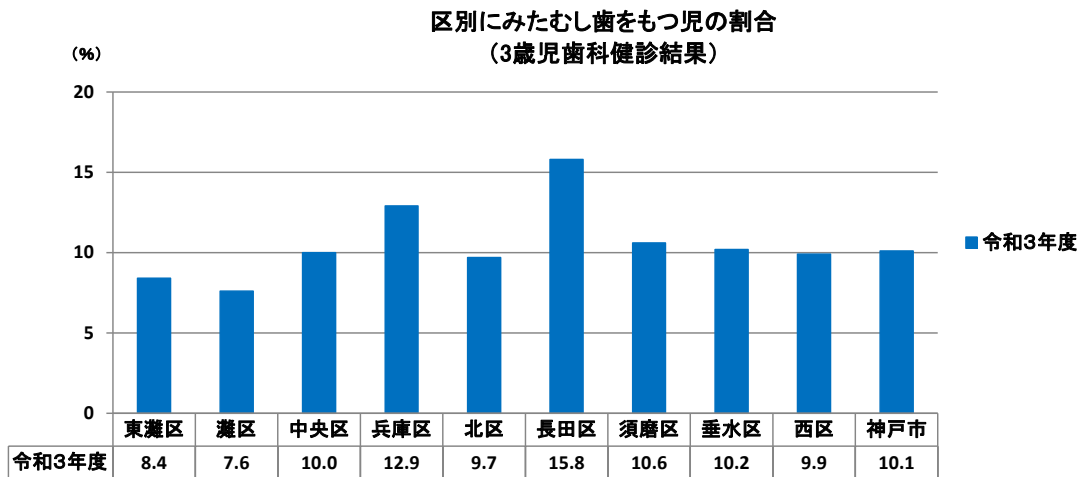
2. 口腔機能について

健康寿命の延伸のためには、口からおいしく食べる必要があるため、口腔機能の低下（オーラルフレイル）を早期に発見して、口腔機能を維持することにより、低栄養やフレイルにならないようにする取り組みが重要である。

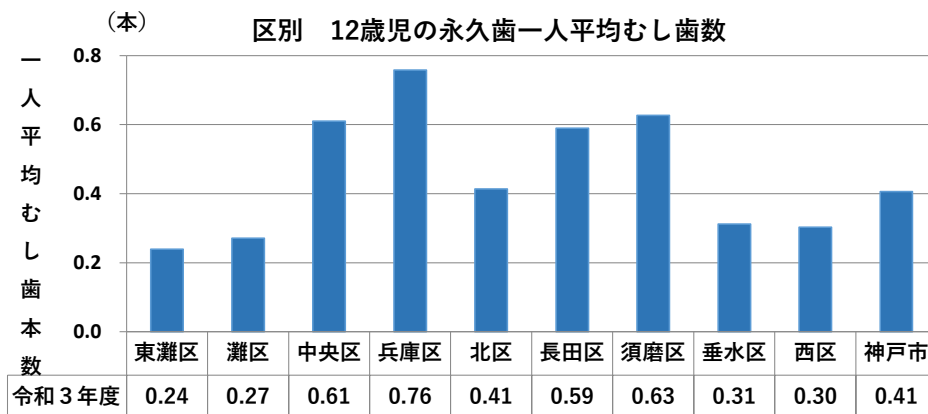


3. 健康格差について

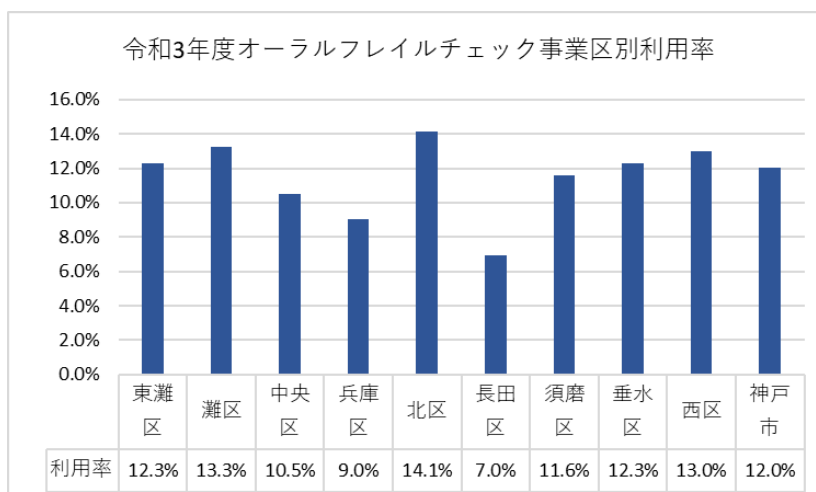
こどものむし歯は、市全体では減少しているが、健康格差が顕著に現れている。歯科健診の受診率にも区間差が顕著である。



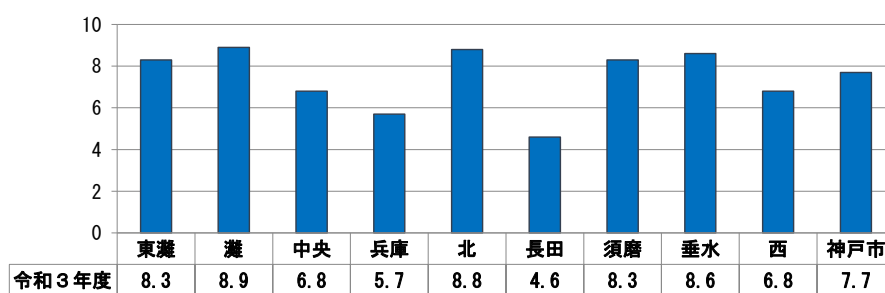
神戸市保健事業概要



神戸市教育委員会調査



40歳歯周病検診の区別受診率（居住区別）



区別受診率：居住区別の受診者数 / 居住区別の発送数

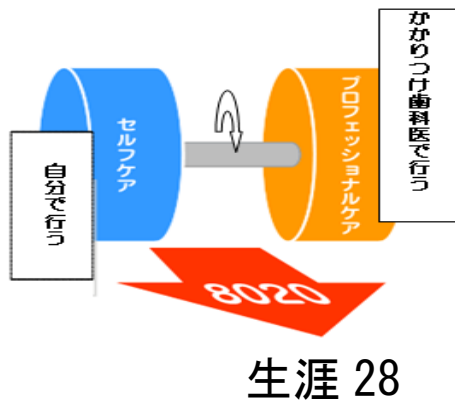
神戸市保健事業概要

第3章 ライフステージに着目した施策の展開

1. すべてのライフステージにおける取り組み

- (1) かかりつけ歯科医をもち定期的に受診する
- (2) 歯垢をとる (プラークコントロール)
- (3) フッ化物を利用する
- (4) 嚙ミング 30 (カミングサンマル)
- (5) たばこを吸わない

歯科口腔保健の取り組みと目標



2. 妊娠期

生まれてくる赤ちゃんのため、両親が自分の歯と口の健康を守る

3. 乳幼児期（0～5歳）

こどもの歯を守り、かむ・話すなど口の機能を育てる

4. 学齢期（6～17歳）

むし歯を予防し、歯と口の健康づくりの基礎をつくる

5. 若年期（18～39歳）

歯と口の健康づくり習慣を確立し、歯周病を予防する

6. 壮年期（40～64歳）

歯周病を予防し、よくかんで健康増進

7. 高齢期（65歳～）

歯の喪失を防止し、口の中を清潔にして、口から食べて活力維持

第4章 分野別にみた施策の展開

1. 障害者への歯科保健医療対策

神戸市立こゝべ市歯科センターにおける専門的な歯科医療体制の整備
歯科口腔保健活動の実施

2. 介護が必要な高齢者への対策

地域包括ケアの推進：切れ目のない歯科医療・口腔ケアの支援体制の構築

3. 救急医療対策（歯科）

神戸市歯科医師会附属歯科診療所における休日の歯科救急医療体制の整備

4. がん対策（口腔がん）

口腔がん検診の実施、市民への啓発、歯科医療関係者の資質向上

5. 周術期（手術前後）などの取り組み

医科歯科連携の推進

6. 災害時における歯科保健医療対策

誤嚥性肺炎による震災関連死を防ぐために、平常時からの啓発、体制整備および災害時における応急歯科医療・口腔ケアの実施